

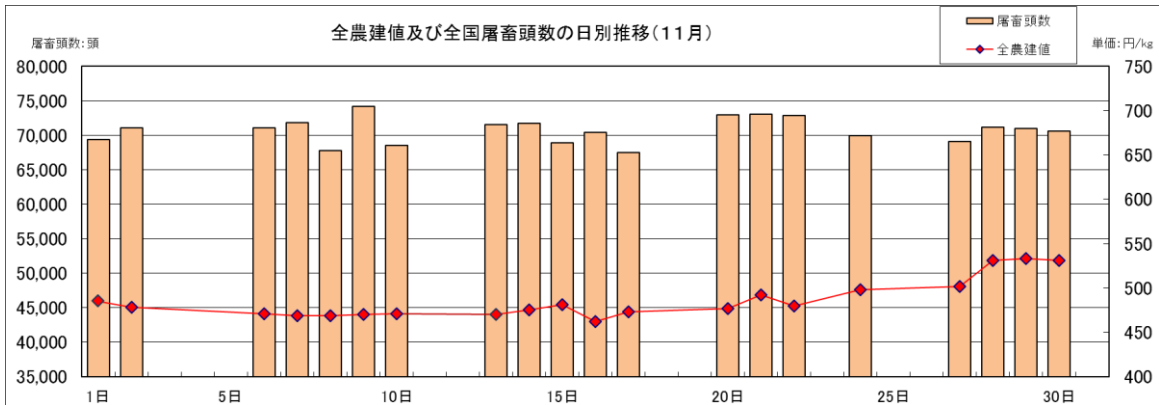
肉豚インフォメーション（11月）

● 11月の動向

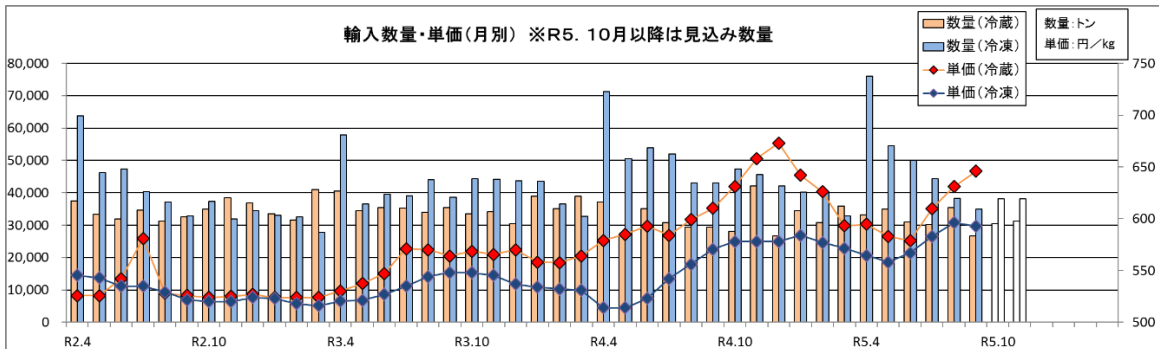
2023年11月（税抜）	2022年11月（税抜）
486円/kg（40円安）	526円/kg

※全農建値

11月は、中旬まで例年に比べて気温高もあり鍋物需要が弱かったことから相場は軟調であったが、気温が下がるにつれて上げる展開となった。

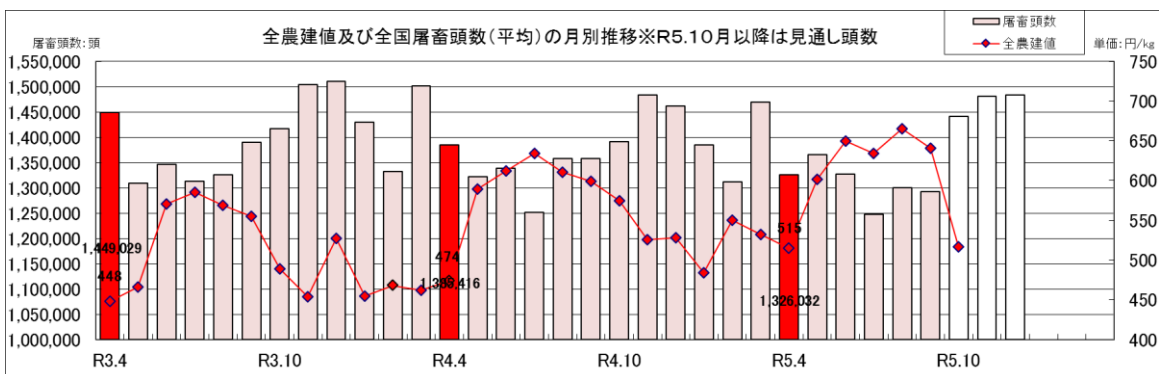


● 輸入動向



● 11月の動向

11月の出荷頭数は、前年同月並みと予測されている。



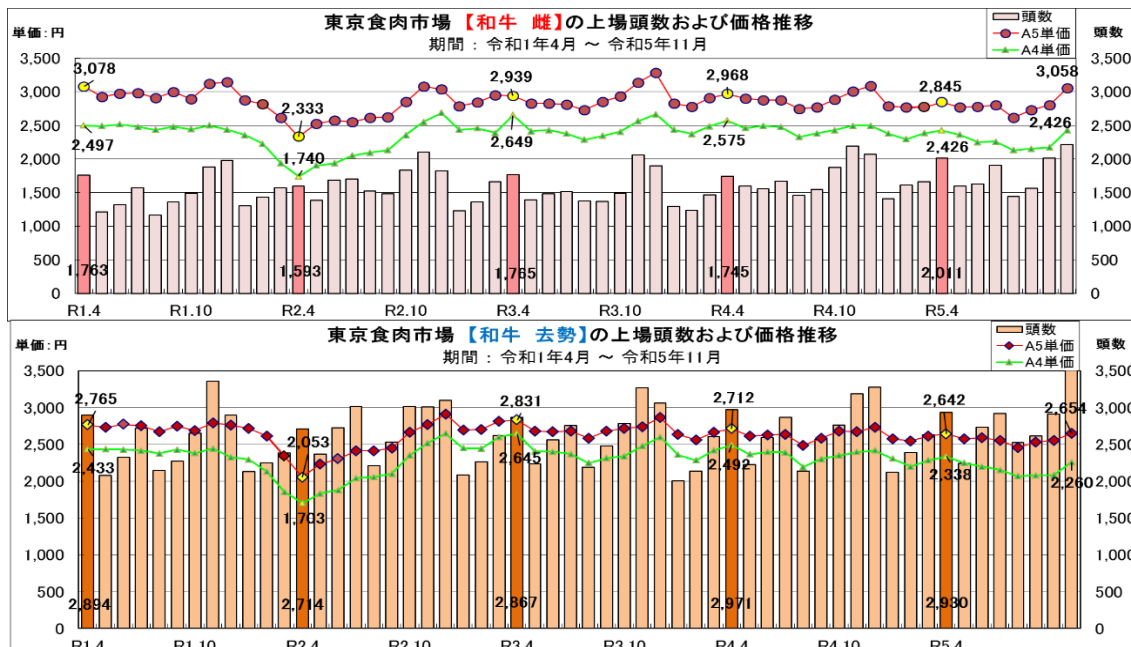
12月の相場は、堅調に推移する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは520円～600円とする。

肉牛インフォメーション（11月）

● 11月の動向

共励会等が多いシーズンで高品質な牛が揃ったこともあり、月初からゆっくり値を上げ、強もちあいで推移した。



● 12月の動向予測

末端需要の伸びが乏しく、例年のような年末商戦らしきものは無いものの、弱いながらも上げ気配の展開と予想。手当のピークは4日～11日頃までとの見方が強い。

12月相場は「もちあい」の展開と予想。

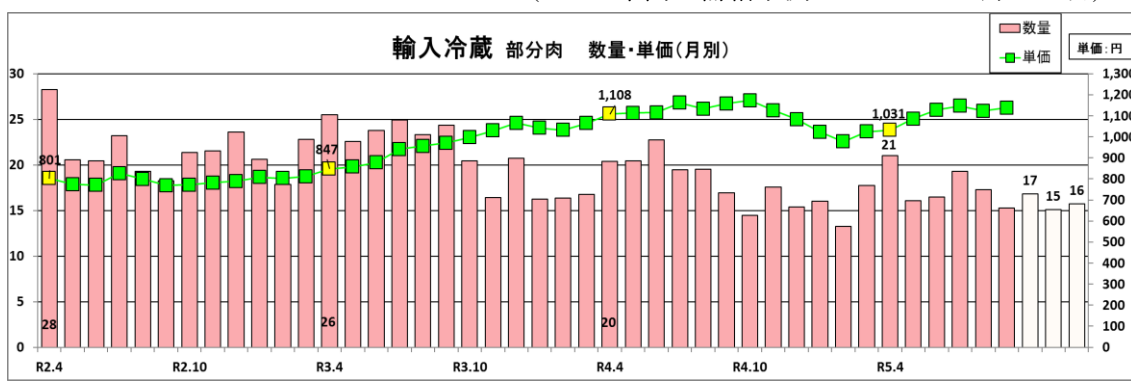
和牛去勢 A5等級 2,700円（税込み） A4等級 2,300円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,700円（税込み） B3等級 1,550円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、11月は、国内需要の低迷の他、米国産輸入量が現地相場の高騰もあり少ないこと等から、前年同月をかなり大きく下回ると予測する。12月は、国内需要は低迷下にあるものの、生産量の増加から豪州産輸入量が増加する等から、前年同月をわずかに上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期と同水準と予測する。

(ALIC牛肉の需給予測について11月28日)



食肉インフォメーション（11月）

●11月の動向

○牛肉

前月に引き続き、物価高騰による末端消費の弱さから厳しい販売環境が続いており、比較的安価なスソ物の需要が強かった。しかし、月後半から気温が下がり始めたことで、鍋物用のバラ・肩ロースの販売が徐々に伸びていった。

○豚肉

10月からの気温低下に伴い出荷頭数が回復したことで、相場も落ち着きを見せたが、物価高騰による消費者の節約意識は未だ根強い。切落し用のスソ物やバラは好調だったが、月前半が高めの平均気温で鍋物需要が伸び悩んだことで、ロース・肩ロースは例年よりも不調となった。

●12月の動向予測

○牛肉

気温低下に伴う鍋物需要の高まりから、スライス向けの肩ロース・バラの販売は堅調に推移すると予想される。また、お歳暮に加えて、コロナが落ち着いたことで年末年始の外出・観光需要の期待感から、ロイン系も販売が増加してくると見込まれる。

○豚肉

本格的に気温が下がっていくとともに鍋物需要が増加し、バラや肩ロースの販売が好調になると見込まれる。また、年末にかけた外食需要として、ロース・ヒレも堅調に推移していくと予想される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年10月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度10月	12,385	12,961	8,570	32,025	15,597	9,908	6,760	98,206
令和4年度10月	12,594	14,360	10,368	30,438	19,228	13,277	7,481	107,746
令和5年度10月	13,083	15,066	7,316	29,137	17,804	10,670	6,927	100,003
増減 (R5-R4)	489	706	-3,052	-1,301	-1,424	-2,607	-554	-7,743
対比 (R3/R5)	106%	116%	85%	91%	114%	108%	102%	102%
対比 (R4/R5)	104%	105%	71%	96%	93%	80%	93%	93%